

図書館だより

*【 】内は所蔵館名

今月の五冊



「傍聞き」

長岡弘樹 著 / 双葉社

話を直接伝えるより、別の誰かに喋ってそのやりとりをそばで漏れ聞かせるほうが人は信じやすい、それが「傍聞き」。警察小説としても、家庭小説としても楽しめる4編収録。

【葦山】



「アジアの子どもたちに学ぶ30のお話」

池間哲郎 著
リサーチ出版

貧しさの中で懸命に生きる子どもたちから、著者は人間として最も尊く大切なことを学んだ。「一生懸命生きることが大事だ」。真剣に生きることを親子で考えてほしい。

【中央】

スタッフ通信

年始はお正月番組がいろいろあります。おもしろい番組が目白押しでテレビ三昧かな？でも、テレビに飽きたら、コタツに入りながら本を読んでみてはいかがですか。より一層のんびりとした時間が過ごせるかも。

(図書館長 名波)



「無用庵 隠居修行」
海老沢泰久 著

文藝春秋
直参旗本日向半兵衛、出世のことしか考えない武士どもに嫌気が差し、暮らし始めた隠居所の名が「無用庵」。口は悪いが情にや弱い。事件があれば黙っておれぬ。

【長岡】



「白雨」
慶次郎縁側日記

北原亜以子 著 / 新潮社
人恋しいのに話し相手なし。過ちゆえに居場所を失い、男の胸に去来する寂寥...

だが老いを迎え、初めて知った至福のひとつ。ぬくもりにひたれる人気シリーズ最新作。【長岡】



「パリのおばあさんの物語」
スージー・モルゲンステルヌ 著 / 岸恵子 訳

千倉書房
小さなアパルトマンに一人暮らしのおばあさん。天性の明るさで“老い”と“孤独”を受け入れてやわらかく爽やかに生きるおばあさんの生き方。あなたは どう思う？ 【葦山】

【長岡】

今月のテーマ 祝成人

こんなときこんな本

小説の主人公になって

『Re born はじまりの一步』伊坂幸太郎ほか
迷い、揺れ、苦しみながら選りとった、生きる道。7人の人気作家による小説集。【葦山】

『ラン』森絵都 家族を失った22歳の女性・環が自転車で辿りついた先には...。再生と希望を描く青春小説。【葦山・長岡】

生き方に悩んだら？

『悩む力』姜尚中 『悩み』を手放すことなく真の強さを掴み取る生き方を提唱。【中央】 『明日もまた生きていこう』横山友美佳 日本女子バレーボール界で将来を期待されていた著者がガンになって...。【葦山】 『トップアスリート』小松成美 北京五輪金メダリストほかトップアスリートたちの真の姿に迫る。【中央】

大人って？ 『おとなになること』サラ・ミッド【中央・長岡】 『大人になるための社会科入門』乙武洋匡【長岡】

問合せ

【中央図書館】電話 0558 76 5566

毎週月曜日休館

おはなし会 1月10日(土)11:00~

【長岡図書館】電話 055 947 2364

毎週月曜日休館

おはなし会 1月15日(木)14:30~

【葦山図書館】電話 055 949 8605

毎週水曜日休館

おはなし会 1月10日(土)24日(土)

いずれも14:00~

*おはなし会は、赤ちゃん~小学校低学年くらいまでが対象です(事前申し込み不要)。

*毎月最終金曜日・祝日・年末・年始などは3館共通の休館日です。

*詳しくは、月のカレンダー(広報にはさみ込み)・図書館ホームページ・各図書館配布の図書館カレンダーをご覧ください。

『大仁町史 資料編二 近世』3月完成！

現在編集を進めている大仁町史(全5巻)の第1巻目、『資料編二 近世』が今年3月に完成。販売開始の時期や価格などは、広報でお知らせしますので、ご期待ください。

資料集にまとめられた石造物調査のうち、身近な庚申塔について紹介してみます。



庚申供養塔

大仁地区の庚申信仰

『庚申』とは暦の『かのえさる』にあたる日の禁忌の行事を中心とした信仰。庚申とは干支(十干十二支のこと)の庚申で、60日を周期に一巡して庚申講が営まれました。

中国の道教に、人間の体内にいて常に悪行を監視している三尸虫という虫が、60日ごとに巡ってくる庚申の夜、人が

寝ている間に抜け出して天に昇り、天上の至高神(天帝)にその人の罪過を告げ、その人は長生きできなくなるという説があります。

人々は三尸虫に抜け出る機会を与えないよう、その夜は眠らずみんなで庚申待や庚申談義をして一夜を明かす。これを庚申待・宵庚申といい、加えて庚申年には供養塔を造立しましたが、それとは関係なく造立されることも多くありました。

写真は、三福の龍源院境内にある宝暦10(1760)年の庚申供養塔。「右志趣者拾八年之開講中無懈怠一百八座勤修畢」と刻まれ、三福村の人たちの名前が残されています。ここに刻まれた文意は、三福村の人たちが18年間怠りなく108回の庚申講を行ったので、記念に石塔を建立したというものです。

今年の干支は己丑です。そこで丑(牛)にまつわる石造物を紹介しましょう。



その45 干支にちなみ、牛頭天王像



牛頭天王像

写真には、長崎地区東側にある牛頭天王像です。神像の頭に牛の頭部を乗せています。馬の頭部を頭に寄せた馬頭観音像は市内に多数あります。牛頭天王はこれよりも数が少なく、市内の各地に3カ所ずつ分布しています。馬頭観音に似ていますが、頭に乘っている

動物に角を表現していますので、角の有無で馬頭観音が、牛頭天王かを見分けることができず、像ではなく、文字で表したのもあります。牛頭天王は、今まで家族同様に生活し、よく働いてくれた牛に感謝するために建てられました。写真の牛頭天王は、昭和四十五年四月に死亡した牛(デイルーマンス号)を供養したものです。

講演会その2
『武士のはじまり2 ~ 鎌倉北条氏の興亡 ~』
とき 1月17日(土)14:00~16:00
ところ 葦山時代劇場映像ホール
講師 神奈川県立金沢文庫主任学芸員 永井晋氏
問合せ 社会教育課 電話 055 948 1461

聴講無料!
申込み不要!
伊豆の国学講座(座学編)

文化協会 だより 34

入場無料
文化協会美術部主催
第二回美術展

書道・絵画・水墨画・墨絵・絵手紙・写真などの十二団体が出展します。

とき 二月六日(金)13時~17時
二月七日(土)9時~17時
二月八日(日)9時~16時

あやめ会館多目的ホール
社会教育課
電話 055(948)1461
文化協会美術部(村山)
電話 055(948)6548

入場無料
耕せ文化・穂りの絵画展
田文連絵画展

伊豆の国市、伊豆市、函南町の文化協会の絵画・墨絵・水墨画・絵手紙などの交流作品を展示します。

とき 一月二十三日(金)12時~17時
一月二十四日(土)9時~17時
一月二十五日(日)9時~16時

函南町中央公民館多目的ホール
社会教育課
電話 055(948)1461
文化協会(西山)
電話 055(76)4036